

# 環境首都コンテスト

## 地域から日本を変える7つの提案

環境首都コンテスト全国ネットワーク+財団法人ハイライフ研究所 編著

A5判・224頁・定価2310円（本体2200円）

「日本の環境首都コンテスト」を通じ465もの先進事例が集まった。ここから持続可能な地域社会づくりのための7つのポイントが見えてきた。①人を活かす、創る、②地域の将来像を描く、③戦略的に事業を組立てる、④環境、経済、社会を合わせる、⑤パートナーシップを深める、⑥行政を総合化する、⑦率先例をつくりだす、の7つで環境まちづくりを進めていくことを自治体に提案する。



3月10日書店発売

### ◎環境首都コンテスト全国ネットワーク

全国13の環境NGOで組織する任意団体。2001年度以来、「持続可能な地域社会をつくる 日本の環境首都コンテスト」を7回にわたって実施（2010年度まで実施予定）。構成団体／環境エネルギー政策研究所、国際環境NGO FoE Japan、ふるさと環境市民、かながわ環境教育研究会、やまなしエコネットワーク、中部リサイクル運動市民の会、環境市民、環境市民東海事務所、未来の子、くらしを見つめる会、環境ネットワークくまもと、プラス・エコ、環境ネットワークながさき塾。

### ◎財団法人ハイライフ研究所

1993年(株)読売広告社により「生活者の生活の質の向上の実現を目指し、各種調査研究を行い、社会の実態把握や課題解決のための提言活動を行うこと」を目的とし設立。地球=環境調和・省資源型の社会および暮らし、人間=少子高齢化社会の姿と暮らし、社会=地域社会と暮らし、価値=21世紀の人間の価値観と行動について4領域を中心に活動中。

## CONTENTS

### 1章 地域からの変革

### 2章 持続可能な社会をつくる7つの提案

#### 1節 人を活かす、創る～地域公共人材、意識を変え、まちを育む

- 1・1 首長のリーダーシップ
- 1・2 職員の意識を変える仕組み
- 1・3 住民が主役のまちづくり

#### 2節 地域の将来像を描く～持続可能で豊かな将来像を描く

- 2・1 ビジョンとは何か
- 2・2 地域が目指す社会や経済の姿を明快にしたビジョン
- 2・3 「環境・経済・社会」を相乗的に高めることを謳ったビジョン
- 2・4 ビジョンの実効性向上のための工夫
- 2・5 ビジョンがもたらすもの

#### 3節 戦略的に事業を組立てる～将来像実現の道筋を明確にし、実行する

- 3・1 水俣市の戦略
- 3・2 「子どもの食育」事業にみる施策の戦略
- 3・3 日本一の地下水都市」の水戦略
- 3・4 ステークホルダーの参加・参画による施策・事業の進行管理と多面的な評価

#### 4節 環境、経済、社会を合わせる～相乗的な効果がある施策を実施する

- 4・1 環境と製造業
- 4・2 環境、消費者とつながる農業
- 4・3 山と持続可能な地域づくり
- 4・4 環境と商業
- 4・5 地域主体のエコツーリズム

#### 4・6 南北格差をなくそう

#### 4・7 環境と高齢者福祉を重ねる施策

#### 5節 パートナーシップを深める～参画と対話を自治体運営の基礎にする

- 5・1 住民参加で育ちあうまち
- 5・2 住民自治への大きな一歩
- 5・3 本質を踏まえた協働事業
- 5・4 住民が住民活動を支援する
- 5・5 日本の直接民主主義
- 5・6 パートナーシップを成功させるために

#### 6節 行政を総合化する～縦割り弊害を除去し、施策の総合化を図る

- 6・1 予算も支持者も増やす行政の総合化
- 6・2 施策の総合化
- 6・3 環境首都づくりに専任の副市長をおく

#### 7節 率先例をつくりだす～成果が人々に希望と行動する勇気を与える

- 7・1 学校まるごとピオトープ
- 7・2 ホタルをシンボルとした地域づくり
- 7・3 時間をかけた丁寧な合意形成
- 7・4 「環境こだわり米」を給食に
- 7・5 飲み物から見直すライフスタイル
- 7・6 全市で「ごみを燃やさないまち」へ
- 7・7 風を活かす
- 7・8 あるがままの自然、食、生活文化を体験
- 7・9 事例から見えてくること

### 3章 脱温暖化と持続可能な地域社会づくり